

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆資源高で日本に9兆～15兆円の悪影響 内閣府、3月月例報告で試算

・内閣府は資源価格の上昇は日本経済に9兆～15兆円の悪影響をもたらすとの試算を公表。イラン攻撃で原油価格が上昇する中、所得の海外流出を警戒。足元の景気は回復が続いているとの判断を維持。足元のドバイ原油価格は2月に比べ2倍に上昇。輸入資源価格が前年に比べ50%上昇した場合、日本経済のコストは9兆円、GDP比で1.4%程度増。

◆在留外国人、初の400万人超 人手不足補う「特定技能」が押し上げ

・出入国在留管理庁は2025年末時点の在留外国人の人数が過去最多の412万人になったと発表。前年から35万人増加し、初めて400万人を超えた。労働現場の人手不足を補う「特定技能」の受け入れが広がった。国籍別では中国が5万7000人増の93万人で最も多かった。2番目のベトナムは68万人と4万6000人増えた。

◆安保上重要な土地取得、国籍問わず規制へ 政府検討「許認可制」視野

・政府は安全保障上重要な土地の売買を規制する検討に入った。自衛隊の基地など政府が重要施設と認めた設備の周囲の土地などを対象とする方向。売り手、買い手の国籍に関係なく規制の対象とする方針で法改正を進める。国籍を問わず一律で規制する。規制の対象や内容は与党などの議論を踏まえて調整する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆タカラスタANDARD、家事代行ベアーズと提携 製品に詳しい担当派遣

・タカラスタANDARDは家事代行大手ベアーズと業務提携すると発表。両社はタカラスタANDARD製品のリフォーム客専用の家事代行サービス「saikou!(サイコウ)」を4月から提供。タカラスタANDARDの研修を受けて、キッチンなど同社製品について詳しい知識を持つベアーズのスタッフを派遣し、掃除と料理を代行する。

◆積水化学工業系、ペロブスカイト太陽電池の販売を開始

・積水化学工業の子会社、積水ソーラーフィルムは薄くて軽いペロブスカイト太陽電池の販売を開始したと発表。同社によると、日本国内のメーカーでペロブスカイト太陽電池を発売したのは初めてという。自治体や避難所に使われる体育館などに向けて販売を進める。フィルム型で薄く曲げられることから、耐荷重の低い工場や学校の屋根にも設置できる。

◆フクビ化学工業、4月1日から製品の値上げ実施へ

・フェノールフォーム断熱材「フェノバボード」などを製造するフクビ化学工業は、4月1日以降、同社製品の価格改定を実施する予定を明らかに。同時に、副資材の入荷も不安定になる可能性があるとして、製品の供給・受注制限や納期調整を実施する可能性もある。中東情勢の悪化により主原料となるナフサがひっ迫し価格や物流費の高騰が続く。

《 注目商品 》

■パナソニック、狭所に適した「エアダスター」

・電動工具ブランド・EXENAから、狭所作業に適したコンパクトな「エアダスター」を発売。狭い場所やピンポイントでの作業に最適化した電池パック18V専用ブロー。本体重量500g、標準ノズル装着時の全長229mmとコンパクトでねらった箇所をピンポイントで吹き飛ばす。



■プロジェクト窓もリフォーム可能に、ハイブリッド枠で断熱・施工・意匠性向上

・YKK APは、カバー工法により外壁を壊すことなく約半日で窓リフォームが可能な「マドリモ戸建用 樹脂窓 ハイブリッド専用枠」にプロジェクト窓を追加して発売。従来は既設枠と新設枠をつなぐ“ジョイント枠”を介して納める必要があったが、専用枠によりこれが不要に。



■パイロットコーポレーション、建築用シャープペンシル

・「疲れにくい筆記具」の代名詞となっている「ドクターグリップ」のボディをベースに、建築現場における墨付けなどのマーキング作業に特化した建築用シャープペンシル。折れにくく濃い筆記が可能な2.0mm芯を搭載、木材やコンクリートへの確実な墨付けを実現。

